

パルプ・紙・紙加工品製造業等における労働災害防止対策等説明会

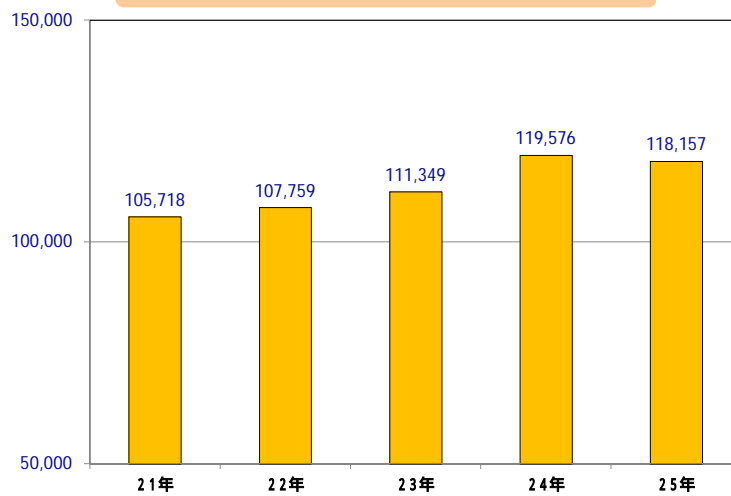
平成26年11月19日(水)
新居浜労働基準監督署

- 1、労働災害発生状況について
- 2、挟まれ、巻き込まれ、切れ、こすれ防止対策について
- 3、安全衛生管理体制について
- 4、安全衛生管理活動について

1

労働災害の発生状況の推移 (平成21年～25年)

休業4日以上死傷者数 (全国)

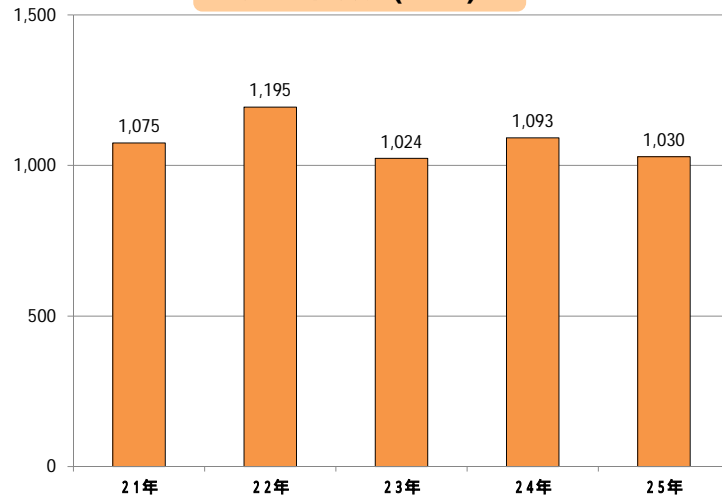


2

労働災害の発生状況の推移

(平成21年～25年)

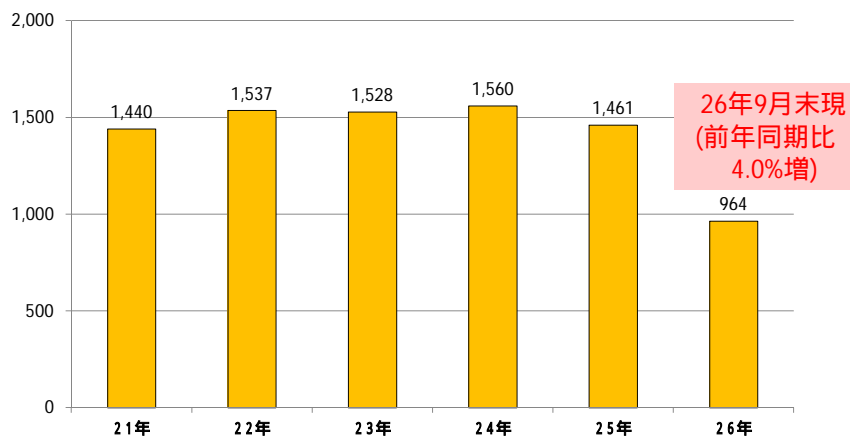
死亡者数 (全国)



3

労働災害の発生状況の推移

(平成21年～25年)

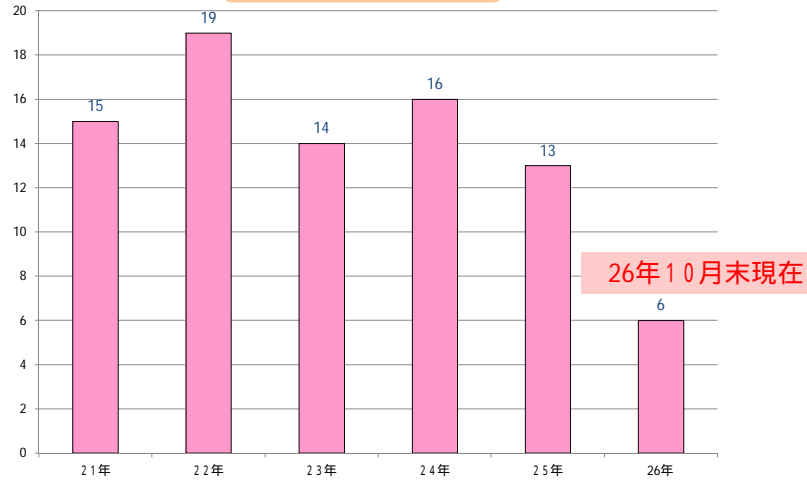


4

労働災害の発生状況の推移

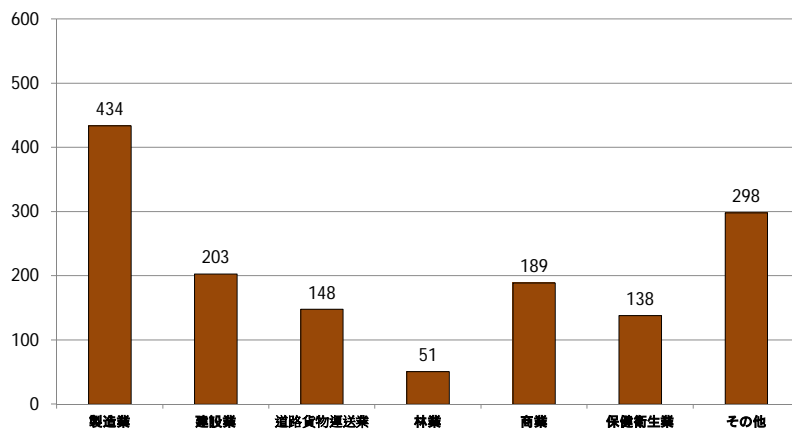
(平成21年～25年)

死亡者数 (愛媛)

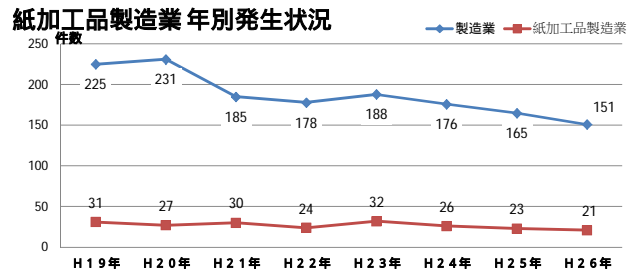
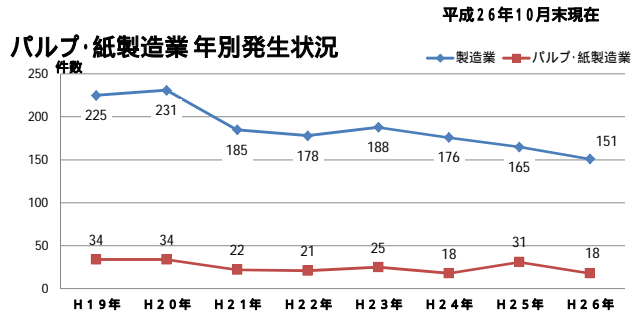


5

業種別労働災害 (愛媛: H25年 休業4日以上 1,461件)



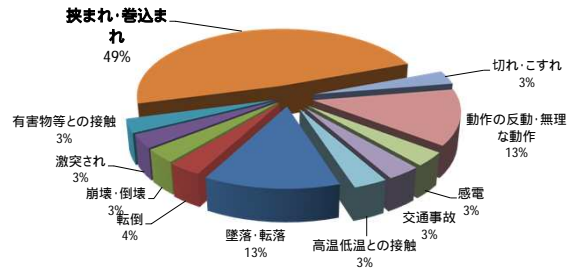
6



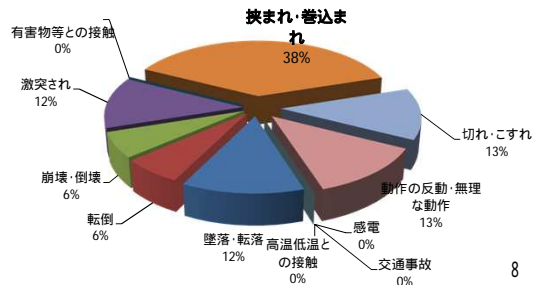
7

パルプ・紙製造業の災害発生状況

平成25年事故の型別発生状況



平成26年事故の型別発生状況

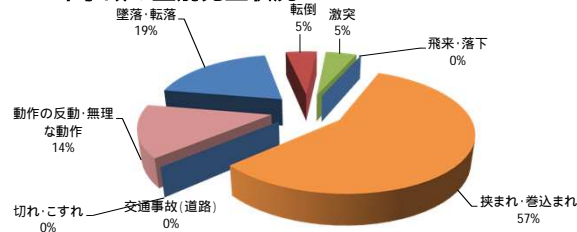


2014/12/2

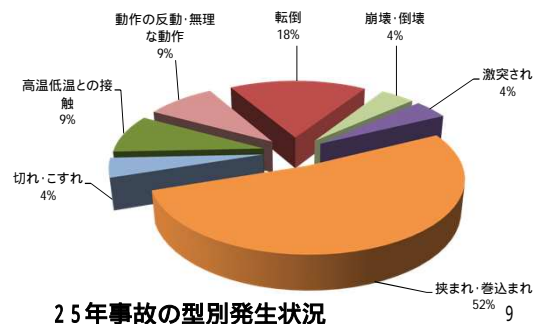
8

紙加工品製造業の災害発生状況

26年事故の型別発生状況



25年事故の型別発生状況



平成26年のパルプ・紙・紙加工品製造業における災害事例

NO	発生月	年代	概要
1	2月	50歳代	原紙加工場にてマシンの駆動ベルトを調整中にドラムとベルトの間に左手を挟まれ負傷。
2	2月	40歳代	抄紙機のドライヤー上部の排風機にたまっていたゴミを排風機を止めずに手で取り除いていた際に回転中の羽根に左手指をはさまれ負傷。
3	3月	50歳代	スリッター機で巻取りロールのほこりを取り除こうとしたところ、回転中のロールに挟まれ負傷。
4	6月	40歳代	キッチンペーパー原紙のロールに原紙がずれていたため機械の運転を停止せずロールの間に手を入れて挟まれて負傷。
5	7月	20歳代	清掃中にコンベアとローラーの間に手を挟まれ負傷。
6	7月	40歳代	ロールのトップロール部に溜まる水をエアーを吹き吸引し、調整していたところ、トップロール部に右手を挟まれ負傷。

平成26年のパルプ・紙・紙加工品製造業における災害事例

NO	発生月	年代	概要
7	7月	20歳代	ロールの水アカ取り最中にロールに右手を巻き込まれ負傷。
8	8月	60歳代	スリッター機が惰性で回転したところ、原紙に引っ張られ左手を巻き込まれ負傷。
9	8月	30歳代	フェイスマスク型抜き加工機に誤って木織布と手をいれて負傷。

 **災害事例**

- ・原動機、回転軸、プーリー、ベルトなどには**安全カバー**、**安全柵**、**囲い**などを設けていますか。
- ・回転軸、歯車、プーリーなど回転物に付属する止め金具は**埋頭型**か、**平滑な覆い**で**直接防護**していますか。

回転部分にボルトなどの突出した止め金具があり、これに衣服等が引っかかり、回転部分に巻き込まれる危険があります。

危険箇所は、**全体を覆うことが有効**であり、**カバーを開けると停止するインターロック**等本質的安全化を推進することが重要です



回転機にはさまれる

❗ 災害事例

遠心機械、粉碎機、混合機
扇風機には囲い、ロール機に
はガイドロールを設けていますか。

粉碎機、混合機の開口部から転落
する危険又は開口部から可動部分
に接触する危険があります。

内容物を取り出すときは運転を停止
して行うことが原則です。



回転体にはさまれる

13

❗ 災害事例

機械の清掃、点検、修理を
行うときは機械を停止し、鍵
をかけ、見やすい個所に表示
板を取り付けていますか。

機械の清掃等の作業を行う時
は、必ず機械の電源を切り、確
実に運転を停止してから行うこ
とが重要です。また、他の作業
者による誤動作を防ぐため、起
動装置に鍵をかけること、「点
検中、スイッチを入れるな」な
どの表示板を取り付けることが
重要です。



機械誤操作

14

❗ 災害事例

ロール機、動力プレス等には、非常の場合に直ちに運転を停止することができるように、非常停止、急停止装置を設けていますか。

非常停止、急停止装置は誰が見てもよくわかるように表示をし、危険箇所ごとに設置するとともに、作業者が自ら容易に操作できるようにすることが重要です。



機械誤操作

15

コンベアーには、巻き込まれないような囲い、覆いを設けていますか。
ロープ式非常停止装置などを設けていますか。



コンベアーは、種類も多く、身体の一部が巻き込まれる災害が発生しています。
囲い、覆いとともに、非常時において直ちに停止するロープ式非常停止装置などを備えることが重要です。

治具等を使用するなどの安全な作業方法を採用していますか。



危険箇所付近に近接して作業しなければならないときは、治具等を使用することにより、できるだけ危険箇所から身体を離すことが重要です。

16

(掃除等の場合の運転停止等)
労働安全衛生規則 第一百七条

事業者は、機械(刃部を除く。)の掃除、給油、検査、修理又は調整の作業を行う場合において、労働者に危険を及ぼすおそれのあるときは、機械の運転を停止しなければならない。ただし、機械の運転中に作業を行わなければならない場合において、危険な箇所に覆いを設ける等の措置を講じたときは、この限りでない。

「調整」の作業には、原材料が目詰まりした場合の原材料の除去や異物の除去等、機械の運転中に発生する不具合を解消するための一時的な作業や機械の設定のための作業が含まれること。

17

常時100人以上
の労働者を使用
する事業場

総括安全衛生管理者

常時50人以上
の労働者を使
用する事業場

安全管理者

衛生管理者

産業医

常時10人以上
50人未満の労
働者を使用す
る事業場

安全衛生推進者

事業主の安全衛生業務の権限と責任を有する者の指揮を受け次の業務を担当する。

- 1、労働者の危険、健康障害を防止するための措置
- 2、労働者の安全、衛生のための教育の実施
- 3、健康診断の実施とその他の健康管理
- 4、労働災害の原因調査、再発防止

18

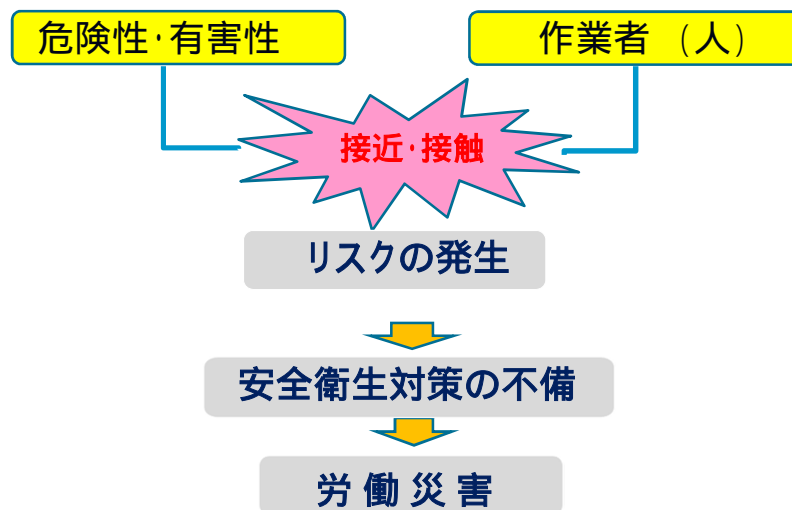
リスクアセスメント

未導入の事業場は、まず一事例から実施してみましよう！

19

リスクアセスメント

労働災害へのメカニズム



20

リスクアセスメントの流れ

労働者の就業に係る危険性又は有害性の特定



特定された危険性又は有害性ごとのリスクの見積り



見積りに基づくリスクを低減するための優先度の設定・リスク低減措置の内容の検討



優先度に対応したリスク低減措置の実施

重篤度と発生可能性の度合を組み合わせで見積もる

リスクアセスメントの効果

職場のリスクが明らかになる

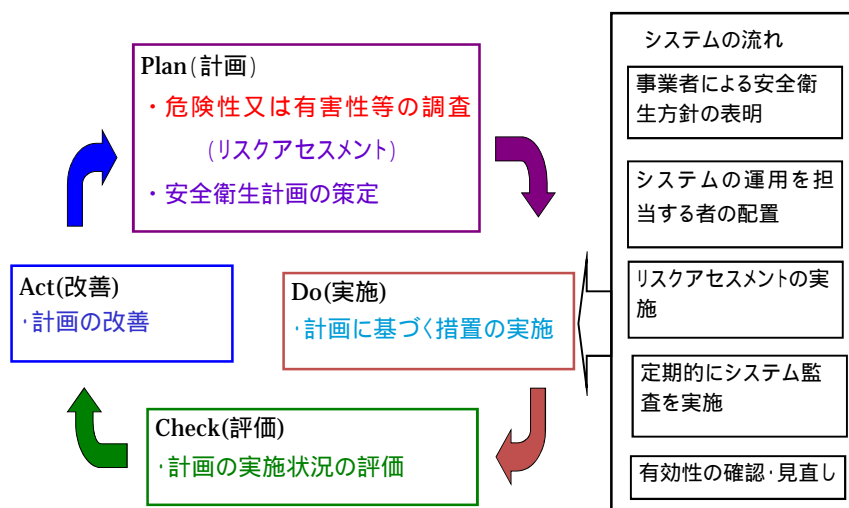
職場のリスクに対する認識を、職場全体で共有することが可能となる

安全対策の実施について、合理的な方法で優先順位を決めることができる

安全対策の実施後に残ったリスクに対しての暫定的に守るべきルールが作業者に理解されやすい

従業員全体が参加することで、「危険」に対する感受性が高まる

< 労働安全衛生マネジメントシステム >



23